

## 平成27年度経済戦略局 運営方針の主な取組

## 国際競争力を高め、世界中から人・モノ・投資等を呼び込む

## 都市魅力の創造・発信による集客力強化

## 都市魅力の創造・発信

- 【都市魅力創造戦略に基づく重点取組の推進】
- 水と光のまちづくりの推進
  - 大阪アーツカウンシルによる文化行政の推進・新たな文化振興の取組
  - 「大阪観光局」による観光振興事業の推進
- 【都市魅力創造の基盤づくり】
- 大阪城エリアの観光拠点化、大坂の陣400年プロジェクトの展開
  - 新しい美術館の整備事業
  - 中央公会堂魅力向上事業
  - 天王寺動物公園、市立美術館の魅力向上
  - 観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業
  - 観光バス乗降場の利便性向上・外国人等観光客受入環境整備事業
- 【2015年シンボルイヤーにおける効果的なイベント展開】
- 水都大阪2015開催事業
  - 御堂筋活性化事業
  - 大阪クラシック、大阪マラソンの開催

## ビジネス環境の向上や民間投資の呼び込み

## ビジネス環境の向上や民間投資案件等の促進

- 【ビジネス環境の向上】
- 特区制度の推進
  - グローバルイノベーション創出事業
  - 市立大学の知的インフラ拠点としての機能強化
- 【民間投資案件等の発掘・推進の支援】
- 大阪の投資環境等の情報発信、投資有望企業・大学等の発掘・アプローチ、企業等進出支援
  - 海外ネットワークとプロモーションの充実
  - 統合型リゾート（IR）の立地に向けた取組

## 中小企業の活力創出や成長・発展の促進

## 中小企業の経営力強化や成長の支援

- 【中小企業の経営力強化の支援】
- 大阪産業創造館、工業研究所等における支援
  - 中小企業への資金支援
  - 地域の実情に応じた商店街・ものづくり企業等への支援
- 【成長分野・海外市場へのチャレンジ支援】
- 成長産業分野（5G・グリーン・クリエイティブ等）における支援
  - 海外市場への展開支援
- 【消費喚起による大阪経済の活性化】
- プレミアム付商品券発行事業

観光・ショッピング・  
食・宿泊などを  
通じて消費促進

投資促進  
新規立地企業と  
地域企業との  
新たな取引の創出  
産学連携等によるイノ  
ベーション創出

大阪の経済成長に向けて着実に推進

## 平成27年度 経済戦略局運営方針

【様式1】  
(局長:井上 雅之)

## ◆計画

## 局の目標（何をめざすのか）

世界中から人・モノ・投資等呼び込む都市魅力を備え、持続的に経済成長する大阪の実現をめざす

## 局の使命（どのような役割を担うのか）

世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力の創造・発信をはじめ、ビジネス環境や人材育成・研究機能の向上などを図ることにより、大阪の国際競争力を高め、世界中から人・モノ・投資等呼び込むとともに、そこから生まれるビジネスチャンス等を活かしながら企業の成長・発展を支援し、大阪経済の持続的な成長につなげる

## 平成27年度 局運営の基本的な考え方（局長の方針）

・「大阪の成長戦略」や「大阪都市魅力創造戦略」のもと、リーダーシップを発揮しながら、経済活性化に向けた局横断的な施策や府市一体となった様々な取組を戦略的かつ機動的に推進する。

・世界中から人・モノ・投資等呼び込むため、都市魅力の創造・発信に資する観光、文化、スポーツの振興を図るとともに、特区制度や国際ネットワークの活用、高度人材の育成・研究機能の強化等によるビジネス環境の向上や民間投資プロジェクトの推進支援に取り組む。

・様々なビジネスチャンスをとらえ、経済主体である企業、とりわけ大阪経済の主要な担い手である中小企業が活発に事業活動を展開し発展できるよう、経営力の強化や成長支援等に取り組む。

## 重点的に取り組む主な経営課題（様式2）

経営課題の概要	主な戦略
<p><b>【経営課題1 都市魅力の創造・発信による集客力強化】</b></p> <p>・大阪への外国人旅行者数等は順調に増加しているものの、都市間競争が激化する中で、国内外から人や投資等呼び込み大阪経済の成長につなげるためには、大阪の都市魅力を一層高めるとともに、戦略的なプロモーションにより内外に広く発信していくことが重要である。</p> <p>・そのため、府市共通の大阪都市魅力創造戦略をはじめ、観光、文化、スポーツの各戦略に基づき、既存の魅力資源や民間の活力を最大限に活かして、各種の取組を戦略的かつ効果的に推進していく。</p> <p>・こうした取組の効果を最大限に高めるため、民間主体がアイデアやノウハウ等を存分に活かし、チャレンジできる環境を整えることが必要である。</p>	<p><b>【戦略1-1 都市魅力の創造・発信】</b></p> <p>・大阪都市魅力創造戦略に基づき、3つの重点取組（水と光のまちづくりの推進、大阪アーツカウンシルによる文化振興の取組、大阪観光局による観光振興の事業展開）や、大阪城エリアや天王寺・阿倍野地区といった5つの重点エリアにおける文化観光拠点形成に取り組む。また、シンボルイヤーとなる2015年にイベントを集中展開するとともに、戦略的なプロモーションを推進し、大阪の魅力を国内外にアピールする。</p> <p>・施策・事業の推進にあたり、民間のノウハウや投資、活力を最大限に引き出すため、行政が担うべき先導的な投資や必要な環境等の整備に重点的に取り組む。</p>

## 主な具体的取組（27年度予算額）

- 【1-1-1 都市魅力創造戦略に基づく重点取組の推進】**
- 水と光のまちづくりの推進（水と光のまちづくりの推進事業、大阪・光の饗宴の開催）〔27予算額 210百万円〕
  - 大阪アーツカウンシルによる文化行政の推進・新たな文化振興の取組（大阪アーツカウンシルの運営、関連事業の実施）〔27予算額 140百万円〕
  - 「大阪観光局」による観光振興事業の推進（観光のプロ組織による観光振興事業の展開、評価・支援体制の確立）〔27予算額 250百万円〕
- 【1-1-2 都市魅力創造の基盤づくり】**
- 大阪城エリアの観光拠点化（PMOによる魅力向上事業、豊臣期石垣公開事業）〔27予算額 161百万円〕
  - 大阪の陣400年プロジェクトの展開（大阪冬の陣・夏の陣から400年という機会を捉えた魅力あるイベントの展開）〔27予算額 50百万円〕
  - 新しい美術館の整備事業（「中之島ミュージアムア일랜드構想」の推進に向けた新美術館の整備）〔27予算額 23百万円〕
  - 中央公会堂魅力向上事業（中之島エリアへの集客力強化・魅力発信等に向けた設備等の機能や美観の向上）〔27予算額 35百万円〕
  - 天王寺動物公園の魅力向上（天王寺動物園への民間活力導入に関する調査、エリアプロモーションの実施）〔27予算額 13百万円〕
  - 市立美術館の魅力向上（快適に鑑賞できる展示空間の整備や外壁改修による魅力向上）〔27予算額 102百万円〕
  - 観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業（歴史・文化的資産を活かした観光魅力の創出等）〔27予算額 5百万円〕
  - 観光バス乗降場の利便性向上・外国人等観光客受入環境整備事業（外国人観光客等の受入環境の向上）〔27予算額 54百万円〕
- 【1-1-3 2015年シンボルイヤーにおける効果的なイベント展開】**
- 水都大阪2015開催事業〔27予算額 85百万円〕
  - 御堂筋活性化事業（御堂筋ジョイふる）〔27予算額 27百万円〕
  - 大阪クラシックの開催〔27予算額 33百万円〕
  - 大阪マラソンの開催〔27予算額 90百万円〕

経営課題の概要	主な戦略
<p><b>【経営課題2 ビジネス環境の向上や民間投資の呼び込み】</b></p> <p>・大阪の経済的地位は低落傾向にある中、国内外から投資を促すため、大阪のビジネス環境を改善・向上していくことが重要である。</p> <p>・府市共通の「大阪の成長戦略」のもと、特区制度の活用・推進などにより、規制緩和や税制面でのインセンティブ、イノベーション創出拠点の形成などを実現し、世界水準のビジネス環境を整備していく。また、人材育成・研究拠点である市立大学が大阪の成長により一層貢献できるように、知的インフラ拠点としての機能強化を図る。</p> <p>・海外都市等とのネットワークを活用しながら、大阪のビジネス環境の優位性を戦略的に発信し、大阪への投資の実現につなげていくことが必要である。</p>	<p><b>【戦略2-1 ビジネス環境の向上や民間投資案件等の促進】</b></p> <p>・特区制度を活用した規制緩和や地方税の軽減制度等を行い、成長分野に焦点を絞った企業立地の促進やプロジェクトの実現を図る。また、「うめきた」におけるグローバルイノベーションの創出支援に取り組み、イノベーション創出が次々におこる環境を構築する。</p> <p>・市立大学における先端的な研究推進や成果の還元に向けた取組を支援するとともに、府立大学との統合に向けた取組を進める。</p> <p>・本市が有する海外都市とのネットワークを積極的に活用し、大阪の投資環境や都市魅力の情報発信、民間投資案件等の発掘などを行い、大阪への投資呼び込みや企業集積の促進に取り組む。</p> <p>・統合型リゾート（IR）について、法制化を見据えながら、大阪への立地に向けた取組を進める。</p>

## 主な具体的取組（27年度予算額）

- 【2-1-1 ビジネス環境の向上】**
- 特区制度の推進（国家戦略特区等による規制緩和、地方税軽減制度等）〔27予算額 5百万円〕
  - グローバルイノベーション創出事業（うめきたにおけるイノベーション創出に向けた取組の推進）〔27予算額 197百万円〕
  - 市立大学の知的インフラ拠点としての機能強化（府立大学との統合に向けた取組、先端的な研究等への支援）〔27予算額 -〕
- 【2-1-2 民間投資案件等の発掘・推進の支援】**
- 大阪の投資環境等の情報発信、投資有望企業・大学等の発掘・アプローチ、企業等進出支援〔27予算額 80百万円〕
  - 海外ネットワークとプロモーションの充実〔27予算額 85百万円〕
  - 統合型リゾート（IR）の立地に向けた取組（IR立地準備会議等による検討等）〔27予算額 4百万円〕

経営課題の概要	主な戦略
<p><b>【経営課題3 中小企業の活力創出や成長・発展の促進】</b>            ・大阪経済の活性化に向け、市内事業所の98%を占める中小企業が活発に事業を展開することが重要である。一方で、中小企業は資金や人材といった経営資源に大きな制約を抱え、経営上の課題は多様化・複雑化するなど、個々の企業努力だけでは解決・克服が困難な問題が数多く存在している。            ・こうした状況を踏まえ、中小企業が直面する経営面、技術面等での円滑な課題解決に向けて、企業ニーズに即した各種支援に取り組むとともに、今後の成長が期待される産業分野や海外市場への展開を促進することにより、中小企業の成長・発展につなげていくことが必要である。</p>	<p><b>【戦略3-1 中小企業の経営力強化や成長の支援】</b>            ・「大阪市中小企業振興基本条例」に基づき、中小企業の経営面、技術面の課題解決をはじめ、販路開拓や資金調達、起業などの各種支援施策を展開する。            ・また、今後の成長が期待される「ライフ(健康・医療・介護等)」や「グリーン(環境・エネルギー等)」、「クリエイティブ」などの分野への参入や、海外市場への展開を促進する。            ・こうした支援策をより効果的なものとするため、市内企業の実態や課題・ニーズの把握・分析、施策・事業の企画立案への活用などを図る。</p>
<b>主な具体的取組（27年度予算額）</b>	
<p><b>【3-1-1 中小企業の経営力強化の支援】</b>            ○大阪産業創造館等における経営力強化の支援(経営相談やセミナー、マッチング機会の提供等) [27予算額 339百万円]            ○工業研究所における技術面の支援(技術相談や受託研究、共同研究開発プロジェクトの推進等) [27予算額 1,201百万円]            ○中小企業への資金支援(創業や事業活動を支える円滑な資金調達を支援) [27予算額 85,915百万円]            ○地域の実情・特性に応じた商店街・ものづくり企業等への支援            (地域の商店街やものづくり企業等の活性化の支援、区役所と連携した支援等) [27予算額 69百万円]  <b>【3-1-2 成長分野・海外市場へのチャレンジ支援】</b>            ○成長産業分野における事業化プロジェクト支援事業(新製品・サービスの開発、事業化をめざす企業に対する支援) [27予算額 87百万円]            ○クリエイティブ産業創出・育成支援(クリエイターのネットワーク拡大、高付加価値な製品・サービスの創出等の支援) [27予算額 99百万円]            ○海外市場への展開支援(海外の見本市出展や商談会参加の支援等) [27予算額 -]  <b>【3-1-4 消費喚起による大阪経済の活性化】</b>            ○プレミアム付商品券発行事業 [27予算額 -]</p>	

「平成27年度 市政改革の基本方針」に基づく取組等（様式3）	
主な取組項目	取組内容
広告事業の推進	局所管施設について、広告ニーズの検証、多様な広告手法の検討を進め、積極的な広告導入に取り組む。
主な取組項目	取組内容
市民利用施設におけるサービスの向上	利用者ニーズの的確な把握に努め、サービス改善を図る。
主な取組項目	取組内容
博物館施設の地方独立行政法人化	経営形態見直しによる効果等の内容についてさらに調査・検討を行い、具体化する。

## ◆自己評価

### 1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

### 解決すべき課題と今後の改善方向

## 平成 27 年度経済戦略局の主要事業概要

### 中小企業の活力創出や成長・発展の促進

#### 中小企業の経営力強化の支援

##### ○大阪産業創造館等における経営力強化の支援 3億3千9百万円

- ・大阪産業創造館において、様々なビジネスチャンスをとらえつつ、社会経済情勢の変化や企業ニーズに即応した支援事業を展開する。
- ・グローバル化への対応など多様化する中小企業の経営課題や、事業承継、女性の活躍促進等の社会経済情勢の変化に応じたテーマに機動的に対応し、様々な分野の専門家によるコンサルティングやセミナー開催、市場のニーズや販路を熟知したアドバイザーによる多様なマッチング機会の提供などにより、中小企業の経営課題の解決や経営革新、創業等を支援する。

##### ○工業研究所における技術面の支援 12億1百万円

- ・技術相談や試験分析、受託研究に対応し、中小企業の抱える技術面の課題解決を支援する。また、中小企業が新たな技術・製品等の開発に効果的に取り組めるよう、研究所が産学官連携を促進するコーディネーターの役割を担い、共同研究開発プロジェクトの組成や推進、実用化の支援を行う。
- ・研究所内に設置した蓄電デバイスの作製・評価を行う「電池開発評価センター」やLED製品の評価を行う「次世代光デバイス評価支援センター」における環境・新エネルギー関連の技術開発支援などにより、成長産業分野への中小企業の参入や事業拡大を促進する。

##### ○中小企業への資金支援 859億1千5百万円

- ・市内中小企業の創業や事業を支えるため、大阪信用保証協会等と連携し、円滑な資金調達を支援する。

##### ○地域の実情・特性に応じた商店街・ものづくり企業等への支援 4千8百万円

- ・来街者の安全性・快適性の確保及び集客力の向上を図るため、商店街等が実施するソフト・ハード事業に対して支援を行う。
- ・地域住民とものづくり企業との相互理解を深める取組や、商店街や地域の魅力発信など地域の経済活性化につながる活動を区役所と連携して促進する。

##### ○地域商業活性化推進事業 2千1百万円

- ・商店街の活性化において活動主体となり得る団体や人を掘り起し、商店街団体とマッチングしていく等の「運営上の仕組み作り」を支援する。

##### ○大阪卸売業活力向上事業 1百万円

- ・卸売企業又はグループの活性化を目的として、異業種間のネットワークの構築促進を行うためのマッチング商談会を開催するとともに、専門家によるセミナーを開催し、卸売企業等の経営改善、経営強化を図る。
- ・また、商談会とセミナーを併せて開催することにより、参加者間の連携、交流を促進し、今後の経営力の向上や販路拡大を図る。

### ○プレミアム付商品券発行事業

19億9百万円

- ・国の緊急経済対策に対応し、市内の飲食・小売・サービスの店舗において利用可能なプレミアム付商品券を発行することにより、市内における商品・サービス購入などの消費喚起を図る。

## 成長分野・海外市場へのチャレンジ支援

### ○成長産業分野における事業化プロジェクト支援事業

8千7百万円

- ・今後の成長が期待される「ライフ」、「グリーン」分野において、新たな製品・サービスの事業化をめざす企業のプロジェクトを認定し、技術開発や販路開拓、資金調達支援など各段階の課題に対応した一貫した支援をコーディネータが伴走して実施する。

### ○クリエイティブ産業創出・育成支援

9千9百万円

- ・「クリエイティブネットワークセンター大阪 メビック扇町」を中心に、大阪におけるクリエイターのネットワークの拡大を図る。
- ・クリエイターと様々な業種とのマッチングなどを実施することで、高付加価値な製品・サービスの創出につなげるとともに、新たな製品・サービス開発など自ら新規事業を生み出すプロデューサー人材の育成を行う。また、大阪のクリエイターが全国的に認知され、受注を獲得・拡大できるよう全国にサポーターを配置し、在阪クリエイターとの協働に意欲のある企業の発掘等を行う。

### ○海外市場でのビジネス展開支援

6千6百万円

- ・本市の姉妹都市やビジネスパートナー都市（BPC）等との海外ネットワークを活用し、在阪企業によるアジアをはじめとする海外での見本市出展やミッションの派遣等を通じて海外ビジネスを促進する。
- ・大阪産業創造館において、関係機関等とも連携しながら、グローバル化への対応など多様化する中小企業の経営課題の解決に向け支援を行う。

## 企業ニーズの把握や企画立案への活用、効果的な情報発信

### ○企業ニーズの把握や企画立案への活用、効果的な情報発信

3百万円

- ・市内中小企業の抱える課題やニーズを的確に把握するため、企業の個別訪問や意見交換会などを実施し、効果的な施策の企画立案や個別企業への情報発信等に活用する。

## ビジネス環境の向上や民間投資案件の呼び込み

### ビジネス環境の向上

#### ○特区制度の推進

5百万円

- ・関西圏として区域指定された「国家戦略特区」について、関係自治体・民間企業等と調整・連携し、都市の競争力強化や、ビジネス環境の整備など経済成長にインパクトを与える取組を推進する。

- ・「関西イノベーション国際戦略総合特区」の指定を受けた大阪駅周辺地区及び夢洲・咲洲地区について、税制・金融等の支援措置を活用するとともに、最大で地方税がゼロとなるインセンティブを活かし、「ライフ」「グリーン」等の成長産業分野の企業等のさらなる集積を図る。

**○グローバルイノベーション創出支援事業** 1億9千7百万円

- ・「うめきた」に設置している「大阪イノベーションハブ」において、国内外から人材・情報・資金をひきつけ、イノベーションが創出される環境の整備に向けて、各種プログラムを展開し、プロジェクト創出や起業家・投資家等とのネットワーク拡大等に取り組む。

**○市立大学の知的インフラ拠点としての機能強化** 121億7千8百万円

- ・ガバナンス機能の強化など、新大学設置に向けた市立大学改革を進めるとともに、府立大学との統合に向けた取組を着実に進める。
- ・市立大学が知的インフラ拠点として大阪の成長により貢献できるよう、設立団体として、地域課題の解決に寄与する先端的な3大重点研究（次世代エネルギーの開発研究、健康科学研究、都市防災研究）及び先進的な地域貢献活動の推進を支援する。

**民間投資案件等の発掘・推進の支援**

**○大阪の投資環境等の情報発信、有望企業・大学等の発掘、企業等進出支援** 8千万円

- ・本市が有する国際ネットワークを活用するとともに、大阪府や大阪外国企業誘致センター（O-BIC）等とも連携し、大阪の投資環境などの情報を発信する。
- ・立地プロモーションセミナーの開催等により、投資有望企業・大学等の発掘とアプローチを行うとともに、臨海部における現地見学会の開催等を実施する。
- ・大阪進出準備拠点「ビジネスサポートオフィス」の運営や相談窓口の設置など、関係局等と連携し進出に必要なサポートを行う。

**○海外ネットワークとプロモーションの充実** 8千5百万円

- ・様々な交流機会を通じて、姉妹都市やビジネスパートナー都市等の海外都市とのネットワークの深化・発展に取り組む。
- ・都市間ネットワークを積極的かつ戦略的に活用し、現地でのセミナー開催などを通じて大阪の強みを効果的にプロモーションし、大阪への投資促進につなげる。

**○成長の起爆剤となる統合型リゾート（IR）の立地に向けた観光拠点の形成**

1千9百万円

- ・統合型リゾート（IR）を契機とした、関西、西日本における新たな観光拠点の形成に向けた府・市一体となった夢洲まちづくりの推進に取り組む。
- ・世界中から人・モノ・投資等を呼び込む夢洲での新たな観光を中心とした民間活力による拠点形成の検討として、民間事業者の提案等の分析や、土地利用方針等を作成する。

## 都市魅力の創造・発信による集客力強化

### 2015年シンボルイヤーにおける効果的なイベントの展開

2015年は、大坂の陣から400年、道頓堀川の開削から400年、天王寺動物園が開園100周年を迎えるなど、大阪の歴史における様々な節目が重なる年であり、「大阪都市魅力創造戦略」においてシンボルイヤーと位置づけ、都市魅力創造に向けた事業を集中的に展開する。

#### ○大坂の陣400年プロジェクトの展開 5千万円

- ・大坂夏の陣から400年という節目の機会を捉え、府市が連携し一体となって、「大坂の陣400年 天下一祭 夏の陣2015」として、様々な事業主体による魅力あるイベントを展開する。

#### ○水都大阪2015開催事業 8千5百万円

- ・シンボルイヤーイベント「水都大阪2015」を開催し、中之島や道頓堀をはじめ水の回廊において、平成26年度のプレイベントを拡充したコアプログラムを実施し、連携プログラムとともに、大阪の水と光の魅力を国内外に発信する。

#### ○「大阪・光の饗宴」の開催 1億7千3百万円

- ・「大阪・光の饗宴」として、コアプログラムである「OSAKA光のルネサンス」を12月に開催するとともに、府域一円で開催される民間主体の光のイベントと連携し、一体的に事業展開する。
- ・また、従来の御堂筋イルミネーション（淀屋橋～難波）に加え、新たに御堂筋北側（淀屋橋～JR大阪駅南側）にもイルミネーションを施し、ミナミ（難波）からキタ（梅田）までの光の一体感をもたせるなど、シンボルイヤー特別プログラムを実施する。

#### ○御堂筋活性化事業（御堂筋オータムパーティー） 2千7百万円

- ・大阪のシンボルである御堂筋を歩行者に開放し、各種のイベントを実施することにより、御堂筋の魅力を国内外に広く発信するとともに、一層の賑わいを創出する。
- ・シンボルイヤーである27年度は、「御堂筋オータムパーティー」の開催に合わせシンボルイヤーを契機とした新たなプログラムを実施する。

#### ○大阪マラソンの開催 9千万円

- ・第5回目を迎える国内最大級の都市型市民マラソン大会である「大阪マラソン」を、新たに「市民アスリート枠」等の新設により定員を32,000人に増やすとともに、これまでのチャリティ文化の普及につながる取組みや多彩な関連イベントに加え、新たな施策を展開することで、より一層盛り上がる大会として10月に開催する。

### 大阪都市魅力創造戦略に基づく重点取組の推進

#### ○水と光のまちづくりの推進事業 3千7百万円

- ・民主導の事業推進組織である水都大阪パートナーズ（平成25年4月設立）により、水の東西軸や水の回廊の各エリア（中之島公園や中之島ゲートなど）でのシンボル空間の創出や舟運の活性化等の取組を推進する。

○大阪アーツカウンシルによる文化行政の推進・新たな文化振興の取組 4億2千2百万円

- ・行政と一定の距離を保ち、芸術文化の専門家等からなる大阪アーツカウンシル（平成25年設置）により、府市文化事業の評価、企画、調査等に取り組み大阪にふさわしい文化行政を推進する。

○「大阪観光局」による観光振興事業の推進 2億5千万円

- ・観光振興のプロ組織である大阪観光局（平成25年4月設立）において、府市共通の観光戦略で掲げる「2020年来阪外国人旅行者650万人達成」に向け、プロモーションやMICE誘致等の観光振興事業を推進し、関西のインバウンド拠点「大阪」の実現をめざす。

都市魅力創造の基盤づくり

○大阪城エリアの観光拠点化 1億6千1百万円

- ・大阪城エリアの世界的観光拠点化に向けた魅力向上を図るため、歴史的・文化的資源である豊臣石垣公開施設の整備などに取り組む。
- ・また、民間事業者の優れたアイデアや活力による観光拠点として相応しいサービスの提供など、新たな魅力を創出するため、民間主導のパークマネジメント組織（PMO）による公園全体の一体管理を行う。（平成27年4月）

○新しい美術館の整備事業 2千3百万円

- ・大阪の新たな都市魅力の創造に向け、中之島4丁目の市有地を活用し、新しい美術館の整備を進め、中之島を文化芸術の重点エリアとする「中之島ミュージアムアイランド構想」を推進する。

○観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業 5百万円

- ・先行地区である船場地区の歴史・文化的資産を観光資源として活用し、まちの個性を体感できる観光魅力を創出するため、建設局と連携を図りながら、有識者会議及び地域協議会において回遊性向上の仕組み等の検討を行う。

○外国人等観光客受入環境整備事業 5千4百万円

- ・本市未利用地を観光バス駐車場として整備するとともに、市内の観光バス駐車場の実態・需要調査を実施する。